

# みゆきの里通信

2016 winter / Vol.30

## 今後の行事予定 event schedule



3月1日  
みゆきの里  
創立記念式典

## 担当医表 charge medicine table

		月	火	水	木	金	土
第1 診察室	午前		江頭			江頭	
	午後				江頭		
第2 診察室	午前	津出	吉田	金場	師岡	吉田	担当医
	午後	師岡	本田	高野	高野	津出	
第3 診察室	午前	馬場	馬場	馬場	馬場	馬場	
	午後			和田山			
鍼灸 治療室	午前	長尾			長尾		
	午後		長尾		長尾		
歯科 1	午前	田川	田川	田川	田川	田川	田川
	午後	田川	田川	田川	田川	田川	

- 統合医療センターについては御幸病院総合受付でお尋ねください
- 王研究員の漢方相談…毎週水曜日の午前・午後 毎週木曜日の午後(15:45～)

長尾名誉院長 外科(鍼灸漢方)・健康相談を担当します。

馬場総院長  
吉田院長  
津出診療部長  
川野リハビリテーション部長  
本田消化器・内科医長 内科を中心として、種々の診療を担当します。  
高野内科医長  
金場リハビリテーション医長  
師岡循環器・内科医長

磯貝緩和ケア診療部長 緩和ケア病棟を担当します。  
緒方緩和ケア診療部・内科医長

江頭医師 呼吸器・アレルギー疾患・心療内科を担当します。

和田山医師 整形外科を担当します。

田川歯科医師 歯科を担当します。予約が必要です。

- 緩和ケア入院相談 月～土 8:30～17:30(随時)  
相談窓口：地域医療連携センター

## ニュース news

### 健康くまもと医福食農の協議会 第3回総会開催

11月18日、ウェルネススクエア和楽3階にて、健康くまもと医福食農の協議会第3回総会が開催されました。

今回は第2回総会以降の事業活動報告と、健康レシピ本作成の中間報告、今後の活動予定などについての報告と意見交換を行いました。事業活動報告を担当した御幸病院栄養管理科の田邊科長は、「この取り組みは外部でも非常に高く評価されていると実感しています。医食同源の観点を意識しながら、さらにメンバー全員でレシピ開発に取り組んでまいります」と、活動についての手応えを話していました。

協議会の広報担当メンバーである、シーツラボ代表の野口様からは、冊子の仕様や掲載内容についての紹介があり、いよいよレシピ本出版が大詰めを迎えてきたという印象が、他の協議会メンバーの発言からも伺えました。

健康くまもと医福食農の協議会の活動は、みゆきの里のホームページからご覧いただけます。

<http://miyukinosato.or.jp/shokunou/>



特集

# よりスムーズな 連携を目指して

～在宅総合支援センターが誕生!～



～医療の輪で、健康と命の尊厳を支えます～ 医療法人博光会 御幸病院



【診療科目】 内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・漢方内科  
リハビリテーション科・心療内科・アレルギー疾患内科  
歯科・麻酔科(ペインクリニック)【医師：岡崎止雄】

【診療受付時間】 平日 午前8時30分～午後5時  
土曜 午前8時30分～午後12時 ※但し急患は何時でも受け付けます。

【施設概要】 ●緩和ケア病棟：20床  
●一般病棟 30床 (うち地域包括ケア病床 14床)  
●回復期リハビリテーション病棟：60床  
●地域包括ケア病棟：25床  
●医療療養型病棟：51床  
●併設：訪問看護ステーション「みゆきの里」御幸病院訪問介護事業所

詳しくはホームページをご覧ください <http://www.miyukinosato.or.jp/>

みゆきの里グループ

- 軽費老人ホーム 富貴苑
- 特別養護老人ホーム みゆき園
- 地域密着型特養 みゆき東館
- 介護老人保健施設 ぼたん園
- ケアハウス ピオニーガーデン
- ウェルネススクエア和楽
- 小規模多機能ハウス ほがらか
- グループホーム ほがらか
- サービス付き高齢者向け住宅 サンシティハウス
- みゆきの里在宅総合支援センター
- 株式会社笑健
- 株式会社みゆきの里健康ファーム
- 熊本市高齢者支援センター ささえりあ平成



みゆきの里 会長  
医療法人博光会 理事長  
**富島 三貴**

あけましておめでとうございます。平成28年も、みゆきの里と御幸病院をよろしくお願いいたします。

今回は、「みゆきの里在宅総合センター」のご紹介です。みゆきの里は創立以来「福祉の原点は在宅にあり」という、創立者の言葉を座右の銘としてきました。この「在宅」というテーマに正面から取り組みました結果、昨年11月に「みゆきの里在宅総合支援センター」を熊本市南区江越に開設することとなりました。

このセンターは、みゆきの里内にあった訪問看護ステーションみゆきの里、御幸病院訪問介護事業所、御幸病院ケアプランセンター、みゆき園訪問介護事業所、居宅介護支援事業所みゆきの里、の5つの事業所を一か所に集約し、それぞれの連携を強化することで、業務の効率化とサービスの向上を図るものです。必要な情報の素早い共有と、有機的な連携の確立により、ご利用者様一人一人に最適な、カスタマイズされたサービスの提供を目指しております。

在宅総合センターと、各事業所の取り組みをご覧ください。

人が人をおもう。人が人をつつむ。



**特集**

よりスムーズな  
連携を目指して  
～在宅総合支援センターが誕生！～

- P1 会長挨拶
- P2 特集
- P5 みゆきのひとヒト
- P6 みゆきの広場
- P7 今後の行事予定／担当医表／ニュース

## ボランティア交流会

11月27日、ボランティア団体の代表及び個人で活動しているボランティア、計85名の皆様にお集まりいただき、年に1度のみゆきの里ボランティア交流会を開催しました。みゆきの里において、ボランティアの皆さんは欠くことのできない大切な存在となっています。現在のボランティア登録数は約600名。年間約500名の方が、みゆきの里ご利用者の暮らしを陰日向になり支えてくださっています。

交流会では、みゆきの里富島会長の挨拶から始まり、御幸病院の馬場総院長他、ぼたん園・サンシティハウス・みゆき園・富貴苑・ピオニーガーデン・和楽の各施設長それぞれが一言ずつボランティアの皆さんの日頃の労をねぎらい、感謝の気持ちを述べました。

特別講演には、恩賜財団済生会鹿児島県支部長であり、この9月にみゆきの里顧問に就任した吉田紀子医学博士が登場。「みゆきHolistic Life プロモーション事業～自助力・互助力、そして地域づくり力～」と題し、真の健康寿命の獲得法や健康の互助力の必要性などについて講演を行いました。「他人に奉仕する行為（利他行為）が自分を健康にするという例があります。ボランティア活動は素晴らしい行為なのです」と



話があると、会場では大きく頷く姿も見られました。

懇談会の昼食には、現在レシピ開発を進行中の『健康くまもと医福食農の協議会』の健康メニュー数品が加えられました。また、みゆきの里で開発した「健脳ふりかけ」も試食していただきたいと準備されました。最後に各施設のボランティア委員が紹介され、ボランティアセンター長の石原知代御幸病院看護部長が「皆様がおいでになるだけでご利用者のみならず私どもも元気をいただいています」とお礼の言葉を述べました。

月に一度、動物介在ボランティアで御幸病院を訪れているという53歳の女性は「いつも患者さんたちが楽しみに待っていてくださるのが嬉しい。今日は心に残る講演と美味しい食事を楽しみました」と笑顔で会場を後にしました。



**中園健太郎**  
在宅総合支援センター  
副センター長  
理学療法士



**西村京子**  
在宅総合支援センター  
副センター長  
看護師・主任介護支援専門員

昨年11月、熊本市南区江越に誕生した「在宅総合支援センター」。みゆきの里が掲げてきたスローガン“全体最適”達成のため、医療と介護の強い連携を目的として設立された施設です。今回は、センター立ち上げまでの経緯&動き出した新しい組織について、2人の副センター長に聞きました。

### “全体最適”を目標に掲げ 5つの事業所が集結

11月2日に開所式を迎えたばかりの「在宅総合支援センター」。これまで、みゆきの里内の各施設で訪問看護・介護・ケアマネジメントに携わってきた事業所が一堂に会し、新たな環境での業務がスタートしました。センターに組織されたのは「訪問看護ステーション みゆきの里」

「御幸病院ケアプランセンター」「居宅介護支援事業所 みゆきの里」「みゆき園訪問介護事業所」「御幸病院 訪問介護事業所」という5つの事業所。これらのセクションは、どのような目的を持って集結したのでしょうか。副センター長を務める中園さんは「センターの構想には大きく分けて4つの狙いがあるのですが、一言でいうと“全体最適”ですね」と話します。広報誌「みゆきの里通信」にもたびたび登場する、この“全体最適”▶▶▶

在宅総合支援センターが誕生！

よりスムーズな連携を目指して

という言葉。それは、個々人が目先の動きに捉われず、チームや部署、ひいては里全体・地域全体で果たす役割について考え、実践していこうという目標を示すものです。「現場で働いていると、目の前のことに一生懸命になるあまり、全体が見えなくなることも多々あります。顔の見える連携を実施していくことで、センター全体、里全体、地域全体を見渡す視点が持てるようになれば」と同じく副センター長に就任した西村さんも頷きます。

### 多職種が手を取り合い プロジェクトを進行

センター立ち上げのため、昨年4月か

ら準備室が発足。プロジェクトには関係するすべての職種が参加し、定期的なミーティングを重ねてきました。「センターに必要な機能は何か? 実際の設備は?など、議題は盛りだくさん。30人余りが集まって詳細なプランを練り上げていきました」と中園さん。また、センターには「医療法人 博光会」「社会福祉法人 健成会」という性質の異なる法人管轄の事業所が存在するため、個人情報の管理など、法令順守も徹底されたといいます。「担当者が何度も行政に足を運び、指導を受けながら計画していきました。事業所ごとに鍵のかかる書庫を使用するなど、実際の業務が始まってからも個人情報の管理は厳正に行っています」と

表情を引き締めます。「ただし、事業所間を越えたスピーディーな連携も、当センターの大きなメリット。適正な情報管理とスムーズな連携を両立していかなければ」と話すのは西村さん。今後はマイナンバーの導入など、さらなる個人情報保護の強化に向け、より重点的に取り組みを続けていくそうです。

### 顔の見える連携で 質の高いサービスを

現在は看護師・介護士・ケアマネジャー・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士という6職種34名が所属し、地域に根ざした在宅支援を行っている同セン

ター。これまでも同じ「訪問看護・介護・ケアマネジメント」という業務に従事する者同士、里内での連携はあったそうですが、従来とは比較にならないほど情報共有がスムーズになったそうです。「一人の利用者様に対して、複数の事業所が関わることも少なくありません。そういった場合に、リアルタイムで情報を共有できるのは同じ場所にいるからこそ可能なこと」と中園さん。訪問看護ステーションと御幸病院のケアプランセンターの管理を兼務してきた西村さんも「重要な連絡を、電話ではなく顔を見合わせてできるのは本当に助かります!」と明るい笑顔をのぞかせます。

少しずつ環境が整ってきた今は、サービスの標準化にも取り組んでいるとのこと。「誤解されがちですが、決して標準化=冷たい画一化されたサービスという意味ではありません。ベテランも新人も、自分のやり方に固執せず、誰であっ



ても同じように質の高いサービスを提供できるよう協力していきたいですね」と抱負を語ってくれました。

### エリア拡充に取り組み 地域の課題を解決

訪問リハの現場と管理部門で経験を積

み、副センター長に就任した中園さん。運営を統括するとともに、将来的な役割の模索やセンターに関する分析業務も欠かしません。「センターの設立には、拠点を増やしてカバーエリアを拡大していくという狙いもあります。高齢化が進んでいる地域、医療や介護の手が十分に届いていない地域など、ニーズをしっかりと把握して対応していきたい」と語ります。

“ときどき入院、ほぼ在宅”という言葉が示すように、在宅における医療・介護サービスは今後さらに重要度を増していくことでしょう。「主役は現場で働くスタッフたち。スタッフが持ち帰る成果や過程を大切に、やりがいを持って働ける環境を作っていきたい」と語る2人のリーダー。医療機関はもちろん、老健施設や特別養護老人ホーム、通所施設など多様な機能を持つみゆきの里をバックグラウンドに、ますます地域に根ざしたサービスを追求する同センターの活躍に期待大です。



みゆきの里在宅総合支援センター  
センター長

# 中村 阿紀子

Akiko Nakamura

## 安心・安全な在宅生活を支える 「在宅総合支援センター」が発足

国が推進する「地域医療構想」のもと、在宅介護と医療機関の連携が重要度を増す昨今。訪問看護ステーションみゆきの里・御幸病院ケアプランセンター・御幸病院訪問介護事業所・居宅介護支援事業所みゆきの里・みゆき園訪問介護事業所を統括し、より迅速で効率的なサービスを提供するため、新たに「みゆきの里在宅総合支援センター」が発足しました。

—“全体最適”を大きな目標に掲げられていると伺いました。

中村 そうですね。当センターは、これまで異なる場所でそれぞれの業務にあたっていた5つの事業所を集めた施設です。“所属するスタッフ一人ひとりが、組織の中でどのような役割を果たしていけるか”常に念頭に置いた運営を心がけていきたいですね。センターの設立にあたっては、今後ますます需要増が予想される訪問看護・介護他に関して、一貫したサービスを提供できるようにすること、近い業務に携わるスタッフ同士のスムーズな連携を図ること。そして、拠点性を西側に設けることなどを目的としました。

—発足して約1ヶ月が過ぎました。滑り出しはいかがですか？

中村 実は先日、ケアマネージャーさんを通して緊急避難の要請を受けたばかりなんです。その方は独居状態。夜中に外出し、迷ってしまったところを保護されたということでした。認知症を患われているということもあり、不安も強く感じられたのでしょね。すぐに里内の施設で保護させていただき、朝にはショートステイへとバトンを渡しました。そういった状況で困られている高齢者の方は、目に見えずとも数多くいらっしゃるのではないかと思います。

—老老介護や高齢者の独居など、社会問題としても注目されていますよね。

中村 そうですね。里内だけでも、入院患者様や通所のご利用者などにも、在宅生活を維持するための異なるニーズを抱えている方が多数いらっしゃいますし、周辺の地域を見ても、高齢化が進んでいる

エリアや訪問診療、訪問看護・介護、訪問リハの手が届いていないエリア、或いは介護保険が取得できていない方々と、さまざまなニーズが隠れていると思います。これからの話になりますが、地域の皆様がお困りになっていることを的確に把握し、連携エリアの拡大や細やかなサポートなど、状況に応じて適切なサービスを提供していく必要がありますね。

—今後の展望を教えてください。

中村 特集記事でも紹介していただきましたが、人材の育成に取り組んでいきたいですね。多種多様なニーズに対して、誰もが同じ、高いレベルのサービスを提供できる体制づくりが急務だと考えています。また、今後は訪問診療他、病院との連携も強化し、的確なニーズを分析しながら、医療系と介護系、どちらにも強い訪問サービス”として地域の皆様のご期待に応えていきたいですね。

### 【profile】 中村 阿紀子 なかむら あきこ

特別養護老人ホーム みゆき園 施設長  
みゆきの里在宅総合支援センター センター長

昭和26年7月8日生まれ 熊本県出身  
昭和49年熊本大学医学部付属助産婦学校を卒業後、旧NTT西日本九州病院(現くまもと森都総合病院)で助産婦として勤務。管理業務の傍ら、熊本学園大学社会福祉学部社会福祉学科監部卒業後、熊本学園大学にて修士課程修了。又、熊本県看護協会にて助産師職能理事中に各地で教育活動に従事。後、熊本大学にて博士課程修了。

<メッセージ>  
訪問サービスは「快適で安心な在宅生活を支援しよう」という強い気持ちがないとできない仕事。情熱を原動力に、選ばれる事業所を目指します!



## みゆきの里地域医療連携懇話会 開催

11月28日、みゆきの里周辺地域の医院やクリニックなど17施設から医師や看護師、MSW(医療ソーシャルワーカー)の方々をお招きし、みゆきの里と地域医療機関の連携と交流を図る懇話会が開催されました。

懇談会会場となったウエルネススクエア和楽では、富島会長がみゆきの里創業以来の歴史や今後のビジョンなどについて紹介。先代から掲げている在宅福祉対策への思いと、介護が必要になっても安心して暮らせる地域づくりの重要性について熱弁をふるいました。

その後は、熊本県健康福祉部健康局局長・山内信吾様の特別講演を実施。「在宅医療に向けての熊本県の今後の展望」をテーマに、今後の地域包括ケアシステムの構築や医療を取り巻く現状、



県としての構想と今後の取り組みについて語っていただくと、参加者の皆様は熱心にノートにペンを走らせていました。

また、馬場総院長、吉田院長からは御幸病院の連携の取り組み、具体的な連携受入れ症例についてお話し頂きました。

講演後は和やかに懇親会が行われ、日頃顔を合わせることで少ない医療従事者同士で情報交換を行い、互いの親交を深め有意義なひと時を過ごしました。

## ハーブポテトの鮭巻き

## みゆきの広場

<材料> 4人前  
(1人前 226kcal 塩分/1.5g)  
●鮭…………… 4切れ (60g)  
●じゃがいも…………… 400g  
●ローズマリー…………… 5g  
●カマンベールチーズ …… 400g

作り方>>

- 1 鮭は5mm幅ほどのスライスにする。
- 2 じゃがいもはなめらかになるようにしっかり湯がき、つぶしておく。
- 3 ローズマリーをみじん切りにして、2と塩を一緒に混ぜ合わせる。
- 4 じゃがいもの中心にカマンベールチーズを入れて俵型に丸め、スライスした鮭で上から重ね巻きにする。
- 5 240℃にあたためたオーブンで10分焼いたら出来上がり。



じゃがいもの中心にカマンベールチーズを入れて俵型に丸めローズマリーは多めに入れても香りが良くとても美味しいです。

### ワンポイント

#### カマンベールチーズ

アルツハイマー型認知症の原因物質が脳に沈着するのをカマンベールチーズの成分が抑えることがわかり、認知症予防への効果が期待されている。

#### 鮭

鮭に含まれているアスタキサンチンは抗酸化力がとても強く、βカロテンの40倍、ビタミンEの約500倍もある。活性酸素を除去し免疫力を高め、体全体を若返らせてくれる。

#### ローズマリー

ローズマリーは記憶力や集中力を高め、細胞の老化を防止する抗酸化作用があることから「若返りのハーブ」と呼ばれている。